

平成30年度事業報告

平成30年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、家庭と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

総合型地域スポーツクラブ化12年目でしたので、より一層運営基盤強化に努めました。

以下にご報告申し上げます。

(1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月4回開催のいきいき健康体操教室は継続している参加者が多く、健康の街若葉台での健康に対する意識が、向上してきています。太極拳教室（講習会）は2つの教室があり、それぞれ月2回の開催をしており、秋山教室は入門、初級、中級コースとレベルに合わせた3コースで実施しています。



(2) スポーツ活動事業

スポーツ大会では、ペタンクは地域の元気な高齢者の参加が多くあり、地域交流ソフトボールは小学校・中学校・PTA・地域から6チームの参加があり、地域交流ソフトバレーボールには中学生や先生・PTAの皆さんが大勢参加いただき楽しい大会となりました。

正月マラソン大会も晴天の下、多くの参加者で盛大に開催、グラウンドゴルフ大会も自治会からの参加が有り大変盛り上がりました。駅伝大会は前日の積雪で中止となりましたが、その他の大会もしっかり開催出来ました。

またクラブ化して始めた春秋開催の登山やマイクロバスを利用したバスハイキングなどの活動にも、山好きやハイカーの地域の方々に参加いただき好評をいただきました。

テニススクールは一般教室は月4回の開催があり、継続した受講者がいます。

5月より始めたチアリーディング教室も今年に入り2名受講者が増えました。



富士山の旬バスハイキング



グラウンドゴルフ大会



正月マラソン大会

(3) 文化活動事業

毎月一回開催の昭和の歌はピアノやギター・クラリネットの演奏に合わせてみんなで懐かしの昭和の歌を歌い、コーヒーを飲みながらの団らんは昔の歌声喫茶さながらでした。

電子顕微鏡でミクロを観る会主催で有用微生物の検索と活用に関する企画や市民教養講座で平田大二先生の「日本列島誕生のカギを紐解くロマンの地を訪ねて」、山岸明彦先生の「宇宙における生命の起源と探査」、丹治保典先生の「うんこの中の微生物」などの講義には会場（木工室）に入りきれないくらいの参加者があり、普段聴くことが出来ないテーマに人気があり、皆さん満足されていました。

春休み理科教室「くらりか」へロンの噴水を作って水圧と気圧と位置のエネルギーの関係を知ろうでは、親子参加で小学生が熱心に取り組んでいました。

戦争体験を語り継ぐ若葉の会では、長崎・サイパンへの折り鶴奉納や、星槎高等学校・若葉台中学校・中央学童保育所などで、講和や紙芝居などを行いました。

市民図書館（SOLA）では毎月絵本の読み聞かせを開催、図書館への来館者は2600名を超え、貸出し本も2666冊で地域の方に楽しんでいただいています。

その他、油絵教室6周年展覧会・正月書き初め・二胡教室発表会・炭焼き工芸普及会な

どの活動もしっかりしました。

文化教室は人気の英会話教室・子ども英語教室・油絵教室をはじめ、中国語教室はNHKネタドリ番組効果で生徒が増え、二胡教室・クラリネット教室・芝居体験・キッズミュージカルの受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がって来ています。



クラリネットで昭和の歌



市民教養講座「日本列島誕生の鍵を解く」



中国語教室（中級コース）



正月書き初め

(4) スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

30 数年続いている学校開放施設（4 校の学校及び旧西中の校庭・体育館・格技場・特別教室）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用して活動しているサークルが 150 団体あり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動をしており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブでつかさどっています。

この長く続いているサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や地域の視察が増えている原因になっており、大変自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。

(5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

- ① 10 月の運動会は朝の雨で、開催があやぶまれましたが、開会式には上がり無事に開催でき、1000 名以上の参加者に色々な競技を楽しんでいただきました。220 数名の実行委員（自治会役員）みなさんの協力で円滑に運営でき、あらためて若葉台地域の団結力の強さを感じることができました。
- ② 11 月の文化祭は 1 週間前のプレイベント自由演奏会で開幕、110 名の演奏者に加え、観客も大勢で、すばらしい演奏にみなさんは聞き惚れていました。
- ③ メインイベントの体育館でのステージ発表は、今年は 37 団体の出演があり、合唱・ダンス・演奏・演武・演技には、来場の観客のみなさんはほれほれしていました。
- ④ 作品展示期間には出展者の素晴らしい出来栄への絵画・工芸・絵手紙・ぬり絵・手芸・フラワーアート・華道・拡大写本・写真・書・俳句などを見ていただきました。
- ⑤ 催事は若い世代に語り継ぐ戦争体験講演や展示・炭の工芸展示・世界のトイレ事情講演・郷土歴史資料室企画の講演や展示・ミクロの会と若中自然科学部主催の電子顕微鏡見学と松本厚子先生の「働く微生物」講演・障がい者理解作品展示・憲法を暮らしに活かす映画会・LP レコード音楽鑑賞・若中茶道部による「お茶席」友好関係の西予市の展示などを開催し、いつもの感動的な芸術の秋を演出できたものと自負しております。



運動会・鈴割り



文化祭・催事「郷土資料展示室」

(6) 青少年支援事業

① 週 2 回開催のジュニアテニス教室には地域内や周辺地域から元気な子どもたちが多数参加しており、年々上手になっています。

夏休み子どもの広場は夏休みの前半 5 日間、後半 5 日間開催、毎日 40 名の子どもたちに勉強の時間やスポーツの時間を作って、夏休みの子どもたちの生活を支援しています。6 月開催のミニバス教室は元全日本選手で若葉台在住の小畑コーチに指導をいただき、参加したミニバス愛好の親子の皆さんにはとても喜んでいただきました。デイキャンプは若葉台スポーツ推進委員・青指の皆さんの協力で、家族（親子）での参加が多く、夏休みの 1 日を楽しんでいただきました。少年野球教室では横浜緑ボーイズの協力でコーチ陣に指導いただき、参加者は貴重な体験になったと思います。



テニススクール・ジュニア教室



夏休み子どもの広場・ボルダリング

(7) その他

学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努め、オール若葉台を対象とする連合自治会、まつりの会、社会福祉協議会が主催する行事に協力しました。また、若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会とも協調し事業展開をしてきました。現在も継続している若葉台みらいづくりプラン推進会議や人生 100 歳ネットワーク・カッコイイ大人プロジェクトなどにも出席し、若葉台地域のより良い街づくりに協力してきました。

対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会を若葉台の会場(クラブ校庭・体育館・テニスコート)で行い、好評をいただき、KSN(神奈川県総合型クラブネットワーク)の事業にも積極的に参加し、クラブの存在感をアピールしました。

最後に平成 30 年度の事業は特に事故もなく、計画に沿って上記報告のように、各事業はほぼ満足のいくような成果が上げられたと自負しております。

なお一昨年(2018)の 6 月に実施した「健康とくらしの調査」のアンケートの結果、若葉台の高齢者は元気な人が多いとの結論が出て、これも長年にわたって学校開放施設や公園運動施設での地域の人達のスポーツ・文化活動が、大いに貢献していることが実証されたものであり、今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思っております。そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思っております。今後とも、宜しくお願い申し上げます。